

オプション検査のご案内

① 癌に関する検査

- 1 婦人科検診 超音波検査、子宮頸部細胞診を行い、子宮頸癌、卵巣腫瘍等の婦人科疾患を発見します。
- 2 子宮体癌検査 子宮体部細胞診による子宮体癌スクリーニング検査です。
- 3 HPV検査 HPV(ヒトパピローマウイルス)は子宮頸癌の原因となるウイルスです。HPV検査は細胞診と同様な方法で子宮頸部の細胞を採取し、癌の原因となる危険な型のウイルスに感染しているかどうかを調べる検査です。細胞診にHPV検査を加えることで癌の診断の精度が上がるため、欧米では両検査の併用が推奨されています。
- 4 乳癌検診 マンモグラフィ(専用の低圧X線撮影装置)で、乳腺疾患を早期に発見します。
- 5 肺ドック/
肺ドックコア 肺癌を早期発見するための検査です。高速CT(MDCT)を用いてミリ単位の病巣を発見します。特に40歳以上のヘビースモーカーや身内に肺癌の多い方にお勧めします。3種の腫瘍マーカー、喀痰細胞診の結果と併せて診断します。肺ドックコアは肺ドックの核心部分にあたる胸部CTのみのオプション検査です。
- 6 ABC検診 ピロリ菌IgG抗体(血液検査)とペプシノゲン検査の陽性・陰性の組み合わせでA,B,C,Dの4群に分類し、胃癌発症の危険度を示す簡易検査で、「胃癌リスク検診」とも言われます。
- 7 ペプシノゲン 血液中のペプシノゲン I、IIを測定することにより、胃癌の高危険群である萎縮性胃炎を判定します。しばしば胃透視検査や、ピロリ菌検査と組み合わせて検査されます。
- 8 大腸内視鏡 内視鏡により大腸癌、ポリープ、炎症等の疾患を診断します。(注3)
- 9 直腸診 視触診、肛門鏡により、肛門・直腸(一部)の疾患の有無を調べます。

② 生活習慣、動脈硬化、加齢に関する検査

- 1 脳ドック 最新鋭の核磁気共鳴装置を用いて「隠れ脳梗塞」等の脳内病変の有無を調べ(MRI検査)、造影剤を用いずに動脈瘤、動脈硬化等の頭部血管病変を発見します(MRA検査)。また頸動脈超音波検査で動脈硬化の初期病変を検出し、メンタルテスト(50才以上及び希望者)も実施します。
- 2 動脈硬化検査 左右上下肢の血圧を同時に測定することにより、血管の硬さ(脈波伝播速度)や下肢の動脈硬化(API)を検出します。特に、足のシビレに悩む方や歩行時に下肢が痛む方にお勧めします。
- 3 内臓脂肪検査 臍部横断面一枚のCT写真を用いて内臓脂肪面積を測定します。腹囲のみの測定と異なり、皮下脂肪と内臓脂肪を明確に区別できます。腹部肥満の気になる方、ダイエットや運動の効果を確かめたい方にお勧めします。
- 4 骨密度 二重エネルギーX線吸収測定法(DXA)により大腿骨および腰椎の骨塩量を測り、骨密度を算出します。骨粗鬆症の早期発見に用いられます。健康診断報告書の骨密度の数字は大腿骨のデータを使用しています。
- 5 睡眠時無呼吸検査(簡易) 睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査です。睡眠中の呼吸状態、脈拍、動脈血酸素飽和度(SpO2)、いびきの回数を測定します。(注4)
- 6 BNP(NT-proBNP) 心臓から出るホルモン(ナトリウム利尿ペプチド)で、心臓に負担がかかっていると血液中の濃度が上昇します。そのため、心臓の機能のチェックに用いられます。息切れや動悸が気になる方、心臓が大きいといわれた方に特にお勧めします。
- 7 栄養相談 肥満、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症、高血圧(塩分)の治療・予防について管理栄養士が食に関する指導を行います。

③感染症に関する検査

1 HIV抗体

AIDS(エイズ)に感染しているかどうかを検出します。感染の機会があつてから6-8週以後、陽性になります。

④ その他の検査

1 甲状腺機能

甲状腺は頸の前面下部にある内分泌器官で甲状腺ホルモンを分泌します。過剰になるとバセドウ病、不足すると機能低下症になります。頸のハレ、原因不明のやせ、眼球突出、心不全、認知症の原因になることがあります。

2 花粉症

スギ、ヒノキ、ハウスダストのアレルギーの有無を血液中の特異抗体を測定して調べます。

注1： ①-1, 4, 5, 8, 9、②-1, 5, 7 を除き検査時間は5-15分です。

①-6, 7、②-6、③-1、④-1, 2は採取した血液の一部で検査します。

注2： 婦人科検診・子宮体癌検査・脳ドック・肺ドック・大腸内視鏡・睡眠時無呼吸検査・栄養相談は予約制です。

お早めに電話でご予約ください。 連絡先：TEL 5794-7331 (13:30-16:30)

注3： 大腸内視鏡検査は前処置の関係で別日となります。

注4： ご希望日にご自宅に検査一式をお送りしますので、手順書に従って器械をセットし検査を受けてください。検査後、キットを宅急便着払いで返送してください。

オプション検査の結果については原則として個人にのみご報告致します。